

# JPDA 7月定例理事会議事録

日 時：平成27年7月8日（水）午後1時30分～午後5時

場 所：文京シビックセンター(障害者センター) 3階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事22名中17名（伊藤 透、井上 聡、牛島志津子、梅原 真、  
江藤正典、小川裕子、加藤和美、加藤憲司、菊地泰輔、永島 学、  
中森恭平、信藤洋二、藤田 隆、丸本彰一、森 孝幹、山崎 茂、  
八木勇達）

欠席届（加藤芳夫、畝野裕司、田川雅一、竹内清高、名久井貴信）

監事2名中1名（島崎英雄） 欠席届（池田 毅）

議事の経過：

定款第31条(議長)により欠席の加藤理事長に変わり伊藤副理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者17名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤透副理事長、島崎英雄監事の2氏であることを確認し、議事に入る。

(決裁事項の議案号数はゴシック。)

## 第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会申込み法人1社、個人3人があり、定款6条並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人1社、個人3人の入会を承認した。

### (1)法人会員（1社）

<東日本>

アトリエ株式会社（推薦者＝伊藤 透）

### (2)個人会員（3人）

<東日本>

石川竜太(りゅうた)（推薦者＝加藤芳夫）

高橋美千代(みちよ)（推薦者＝加藤芳夫）

早瀬友梨(ゆり)（推薦者＝奥本 隆）

## 第2号議案 再入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会申込み個人会員1人があり、定款6条並びに会員規定に基づき

入会審査を行い、下記の個人会員1人の再入会を承認した。

(1)個人会員（1人）

<東日本>

片平直人(なおと)（法人代表を辞し、個人会員に再入会を希望）

**第3号議案** 休会承認の件

本日の理事会までに休会届を提出した個人会員1人の休会を承認した。

<東日本>

三澤恵理子(えりこ)（非常勤職選択のため）[平成27年7月～29年6月]

**第4号議案** 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員の上六印刷株式会社については、菊池理事の説得により退会を思いとどまり、法人会員を継続いただくことになった。

以上の結果、上六印刷株式会社を除く法人会員2社、個人会員8人の退会を承認した。

(1)法人会員（3社）

<東日本>

伊藤ハム株式会社（デザイン制作物内製化のため）[6月末退会希望]

株式会社サムシング（専門スタッフ退社及び事業縮小のため）[6月末退会希望]

<西日本>

上六印刷株式会社（経費削減のため）[6月末退会希望]

(2)個人会員（8人）

<東日本>

網代幸介(あじろ)（イラストレーターとして活動していくため）[7月末退会希望]

石原雅彦（還暦のためのひと区切り）[6月末退会希望]

熊井保玄(やすい)（傘寿のためのひと区切り）[6月末退会希望]

中塚大輔（仕事の現場から引退して久しくなったため）[7月末退会希望]

根上真理子（一身上の都合により）[6月末退会希望]

野末俊作(しゅんさく)（法人代表になるため）[6月末退会希望]

<西日本>

大西咲子(さきこ)（育休をとるため）[7月末退会希望]

小田 俊(とし)（一身上の都合により）[7月末退会希望]

**第5号議案** 協会名義使用承認の件

山崎事務局長より、下記の2件については事前に理事長承認を得て、回答済みであること

が案内された。

(1) 後援名義の使用依頼

- ・「パッケージデザイナー向けセミナー」開催に向けての後援名義の使用依頼  
(案内状配布までに日程がなく、事前に理事長承認を得る。)

主催 アドビシステムズ株式会社

(2) 共催名義使用を前提とした講師派遣依頼

- ・「富山デザインフェア 2015」講演会開催に向けての講師派遣依頼  
(伊藤副理事長にお願いしています。)

主催 富山デザインフェア実行委員会

## 第6号議案 正副理事長報告について

欠席の加藤理事長に代わり山崎事務局長から、及び伊藤副理事長から下記の案内があった。

- 加藤理事長報告
- ・6/6 代官山蔦屋での年鑑発刊記念トークショーに出席。
  - ・6/16 (公社)日本包装技術協会・2015日本パッケージングコンテストの作品審査会に出席。
  - ・6/25 アスパック事業打合せに出席。森理事、笹田委員長同席。
  - ・7/24 鹿児島食とデザインイベントにおいてトークセッションに梅原理事と共に出席予定。
  - ・8/6 D-8 運営会議(26年度決算、27年度予算案)に出席予定。
- 伊藤副理事長報告
- ・6/6 JIDA総会後のトークセッション+懇親会に出席。

## 第7号議案「新入会員獲得に向けて」の提案について

本日欠席の加藤理事長から寄せられた「新入会員獲得に向けて」の提案を軸に論議が進められ、2時間の検討の結果、下記の結論を得た。

- ・「新入会員獲得に向けて」を考える前提として、これからのJPDAをどうするのか？の課題に答える必要があり、下記の方角で進めることが確認された。  
協会運営にはある程度の事業規模が必要であり、50余年の歴史からも現状程度の事業規模の確保が必要であることから、今後も「人的拡大＝事業規模の拡大」を希求しながらもう一方で、パッケージデザインの「より質の高い価値・魅力を発信する必要性」が確認された。
- ・上記の方向性を前提とした「新入会員獲得策」は、「人的拡大」と「価値・魅力の発進力の強化」に対応する施策を推進することとした。
- ・「人的拡大」：創立50余年のJPDAの組織構成も日本の人口構成と同様に逆ピラミッド型になって来ており、構造図で言えば「裾野拡大」に当たる若者層「若いデザイナー・デ

デザイナーを目指す学生」の獲得が最大の課題であると考える。

上記以外にもJPDAの課題である「地方のデザイナーの拡大」「女性のデザイナー拡大」「法人・企業の拡大」に努める必要性が提案された。

- ・「価値・魅力の発進力の強化」：ピラミッド型構造図で言えば、「上部の充実」に該当し、ターゲットとしては、例えば大賞コンペ入賞者の中から候補者を選定し、理事会で「入会して貰いたいデザイナー」として推薦する、等が考えられる。

また、上記の課題解決に当たり下記の3方向で検討することとした。

- 1、「若いデザイナー・デザイナーを目指す学生」の検討：伊藤副理事長、中森理事が中心になって検討する。
- 2、「法人・企業」の検討：伊藤副理事長が池田監事、名久井理事の意見を確認しながら検討する。
- 3、「入会して貰いたいデザイナー」の検討：加藤理事長、伊藤副理事長が中心になって検討する。

※ 学生会員の新設に関しては、定款・会員規定等との関連を含めて山崎事務局長が検討する。

その他の意見：

- ・「パッケージデザイン大賞コンペ」を協会PRの「核」になるように知恵を絞る。憧れのデザイナーや時代を作るデザイナーを審査員に招聘し、JPDAコンペに参加すること、入選・入賞することがステイタスになるようにする。
- ・アツと驚かせる企画・イベントが必要で、JPDAの存在・活動を社会に強くアピールすることが大切である。
- ・格好良さがアピールできるネーミングを検討してはどうか。JPDA(ジェーピーディーエー)では、格好良さが無い。(参考：JAGDA=ジャグダ)
- ・地方に出かけワークショップを開催する等、JPDAを積極的にアピールすることが大切である。
- ・法人・個人の入会メリットを分かりやすく・明確にしたパンフレットを常備しておく必要がある。
- ・法人企業における、個人会員の企業内における世代交代(新陳代謝)が必要ではないか。
- ・若い層へのアプローチは、若い人達の企画で対応する必要がある。

第8号議案 委員会報告について

<決済事項>

○国際交流(APD in ソウル)

森理事から、資料に沿って下記の報告があり承認された。なお、会計報告は9月9日理事

会の予定である。

- ・開催日時：平成27年5月12日（木）～5月14日（土）
- ・アジアパッケージデザイン会議／ソウル：平成27年5月13日（金）
- ・デザイン会議：基調講演（韓国）、エリアレポート（上海、韓国、台湾、日本）
- ・APDアワード
- ・懇親パーティー
- ・参加者：25名

会議会場は、昨年完成したばかりのDDP（東大門デザインプラザ）というザハ・ハディット氏デザインの近未来感溢れる施設で行われた。上海に引き続きソウルもAPD開催に当たりスポンサーがついたとのことで、会場前にはスポンサーロゴが格子状に並んだ大きなスポンサーボードが掲示されていた。様々な課題もあるが今後は日本でも検討すべき事項かと思う。デザイン会議は韓国の基調講演からスタートし、持続可能な社会をキーワードに東洋と西洋の融合、自然との調和、デジタル革命などについて講演があった。各国のトレンドについては、上海、台湾は、自然や文化、伝統などを考慮し、その関連性を問えるデザインの重要性について、韓国はコラボレーションデザインがおこす新しい商品の魅せ方とその可能性についてであった。日本からは田川理事によるジャパントrendについての講演であり、JPDA大賞とPBの現状についてであった。APDアワードは回を増すごとに4つの地域それぞれの特色がより濃くなり、デザイン性も向上が著しいと感じた。

#### <報告事項>

##### ○国内交流

- ・井上理事からパンフレットに沿って、今年10月2日に東大阪で開催予定の全国会議について報告があった。

テーマを「ものづくり大阪の底力」とし、ものづくりビジネスセンター大阪「MOBIO」の小山氏の挨拶、企業3社「(株)中島重久堂」「(株)ペーパーワールド」「(株)ナカニ/にじゅら」の紹介、取材チームを交えたパネルディスカッション等を計画中であり、詳細は更に検討を進める。

会場はクリエイターズプラザ東大阪、交流会はホテル阪奈、宿泊はホテル阪奈、アイランドを予定しており、翌日のオプションツアーは釜が崎・飛田まちあるきツアー（このツアーだけは参加費が必要になります）、東大阪周辺の名所巡り、司馬遼太郎記念館等自由散策を検討中。

##### ○展覧会

- ・小川理事から資料に沿って、6月8日に行われたDIC新社屋視察の状況が案内された。会議室、ロビー等も従来同様に申込により、DIC側の都合が良ければ活用させていただけるとのことで、協会にとって朗報であった。

## ○出版

- ・山崎理事から口頭で、6月6日に代官山蔦屋で蔦屋、六耀社、JPDA共催による「年鑑日本のパッケージデザイン」の出版記念パネルディスカッション開催の様子が案内された。また、大賞・金賞の作品展示効果によって、入賞作品の実販売が好調であった旨が報告された。

## ○教育

- ・山崎理事から口頭で、11月に教育委員会主催のワークショップが前述のDIC新社屋の会議室を借用して開催されることが案内された。

## ○広報

- ・永島理事から資料に沿って、広報誌PD22号のコンテンツが案内された。22号は、総会・記念講演会報告、APD in ソウルの報告、気になる会社インタビューは「エアロコンセプト」、ロングラン商品の秘密は「コカ・コーラ」、会員インタビュー、基礎講座の13回目、理事長コラム、新入会員紹介等の予定である。

## ○インターネット

- ・江藤理事から口頭で、今期から西日本の中森理事にインターネットを担当して貰うことになったこと及び、今期は改善点等の検討を進め、改善の実行は来期に行いたい旨が案内された。

## ○調査研究

- ・加藤(憲)理事から口頭で、前期に行ったデザイナー調査に関する追加調査を検討していることが案内された。

## ○デザイン保護

- ・伊藤副理事長から資料に沿って、デザイン保護委員会の活動報告が案内された。デザイン保護ハンドブックは6月下旬に全会員に配布済みであること及び、委員会レポートHP更新はVol. 68「結合商標の権利侵害事例『湯〜トピア』事件」、JPDAデザイン保護委員会の開催(6月16日、次回は7月16日開催予定)、D-8デザイン保護研究会参加(6月18日、次回は8月20日伊藤副理事長参加予定)、(一社)日本デザイン保護協会 総会及び懇親会(6月19日開催)に丸山委員長が出席したことが案内された。

## ○東北プロジェクト

- ・江藤理事から口頭で、6月2日に東北工業大学で加藤理事長が講演・ワークショップを行ったこと及び、8月セミナー・ワークショップ開催(30名+α)に向けて7月中に現地を交えた検討を進めたい旨が案内された。また、今期もJAGDAが進める「おいしい東北」を支援していくことが案内された。

## ○総務(D-8・アーカイブ)

- ・信藤理事から口頭で、進行中のデザイン大賞コンペの大賞・金賞作品収集の件に関し、

収集が完了している39作品を事務局ビル地下の倉庫に収蔵したこと及び、閲覧ルールの作成、インターネットでの紹介方法、外部からの取材への対応方法等についても検討していく予定であることが案内された。

#### ○西日本

- ・藤田理事から資料に沿って、西日本総会報告会+勉強会「地域活性化におけるパッケージデザインの役割とは?～JPDA調査から見えてきたこと～」について案内された。

6月19日(金)・大阪市北区メビック扇町交流スペース3において、講師に大日本印刷の中越前理事を迎えて「誰にデザインを頼んでいるの?」「特産品のデザイン料っていくらなの?」「デザイナーに求められることは?」等をテーマに開催された。参加者は53名であった。

#### 第9号議案 事務局報告について

山崎事務局長から、資料に沿って下記の案内があった。

- ・特許庁との意見交換について  
(9月9日 理事会 午後1時30分～2時30分を予定)
- ・会員状況について

#### 第10号議案 次回理事会開催スケジュール

日時：平成26年9月9日(水) 午後1時30分～5時

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 未定

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前